

染めたのは、生徒たちの想いでした。

伝える手ぬぐい

真善美。自然と調和する日本のものづくりは、私たち生活を支え、豊かさをもたらしてくれました。その根底にある職人や文化、伝統工芸を再発見し、伝え、残していくことが大切だと感じました。この度は、14種類の「日本の良さ」を伝える手ぬぐいをご用意しました。ぜひ、お手に取ってご覧くださいませ。

2023.2.4(sat) | 10:30 ~ 15:30

ランチ仙台オーガニックマーケットにて（限定販売）

仙台南高等学校 科学技術科 デザインコース 3年生有志

あえて『手ぬぐい』を使う

使えば使うほど、愛着が増す。その秘密は、

- ・風合いが良い ・吸水性が抜群
 - ・乾きやすく、雑菌が繁殖しにくい
 - ・飾っても美しい ・物を包むことができる
- など、数々の利点があるからなのです。



例1 | 拭う



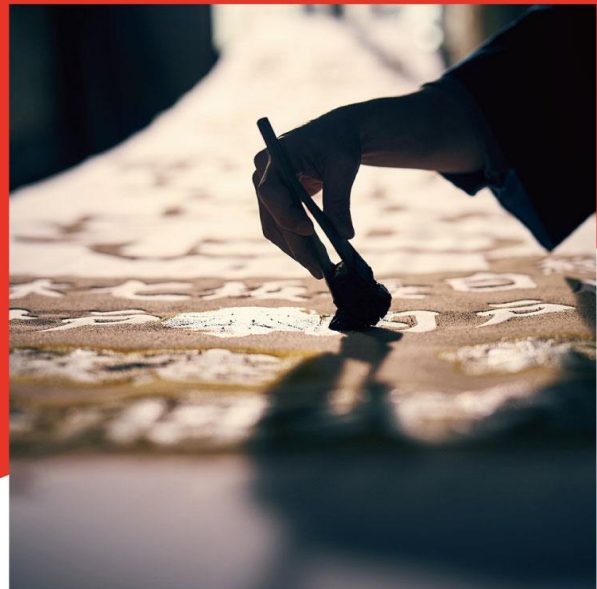
例2 | 飾る



例3 | 知る

残してゆきたい文化や伝統

私たちは日本の職人文化や伝統工芸を知らない、もしくは表層部分で認識していることが多い。その結果か、職人や文化、伝統工芸などの後継者がおらず、消滅の危機に陥っているものも少なくありません。何十年、何百年とかけて受け継がれてきた技術が失われるということもあるそうです。この危機的状況の中で課題となっていることは、この現状が「知られていない」ことです。その点に着目し、私たちは日本の良き文化や伝統を伝える手ぬぐいを製作して記録を残し、啓発活動をする
こととしました。



写真は永勸染工場様ブランドサイトより



ご購入いただくと、文化や伝統の保存・啓発につながります。

利益は、文化や伝統を保存する団体に寄付する予定です。

● 地域連携 / 謝辞 (敬称略)

株式会社永勸染工場

一般社団法人 Granny Rideto

BRANCH 仙台

特定非営利活動法人まちづくりスポット仙台

デザインコースは
これからも魅力を伝え続けます。



再発見しよう
日本の魅力。

Re:discover JAPAN.



永勸染工場
ブランドサイト
<https://nagakan.jp/>



永勸染工場
Instagram
<https://www.instagram.com/nagakan1887/>



仙台南高校
科学技術科
デザインコース
Instagram
https://www.instagram.com/johnan_std/

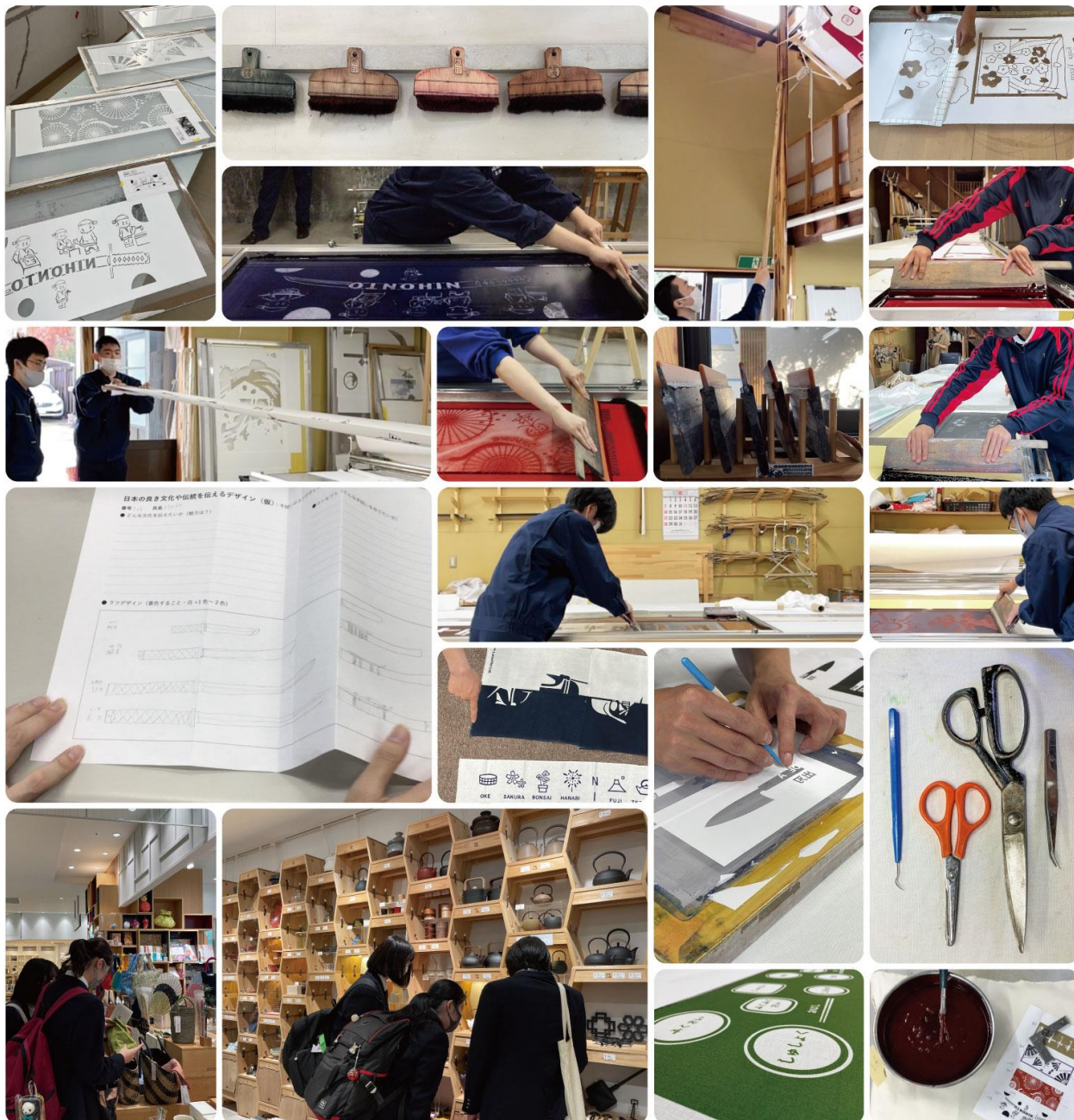
江戸時代から発展してきた 『手捺染*』という染色技法。 染めたのは、生徒たちの想いでした。

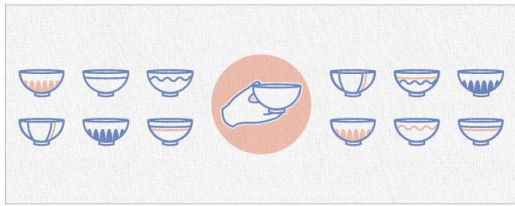
生徒たち自ら日本の文化や伝統について調べて、デザインして、染める。
課題研究の授業を通して永勸染工場様と連携させていただき、一枚一枚、想いを染めました。

価格：1枚900円(税込)

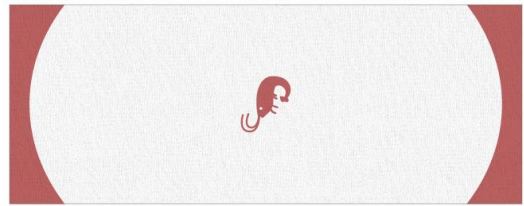
*手捺染(てなせん)

- ・捺染は染料を糊に溶かした色糊を使って布に模様を描き、染料を固着した上で水洗いをし、出来上がる染色技法です。
- ・染料をつけたハケを引いて布を染めていく技法である引染よりも、量産性に優れ、細かい表現もできるという利点があります。





器の持ち方 | 阿部 明里 作 - ABE Akari



エビ餅 | 伊藤 雛梨 作 - ITO Hinari



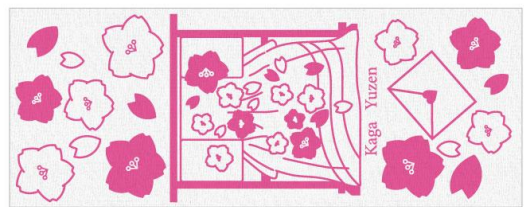
日本刀刀工 | 岩淵 楓 作 - IWABUCHI Kaede



黒松盆栽 | 古城 宗利 作 - KOGI Munetoshi



雨傘 | 今野 千優希 作 - KONNO Chiyuki



加賀友禅 | 佐藤 碧来 作 - SATO Mirai



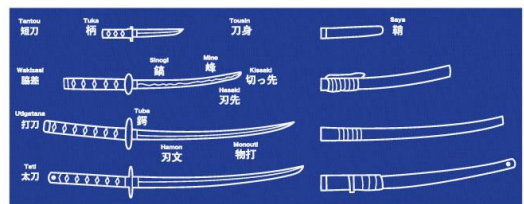
陶芸手順 | 菅生 虎伯 作 - SUGO Kohaku



錦鯉 | 武田 昭隼 作 - TAKEDA Akito



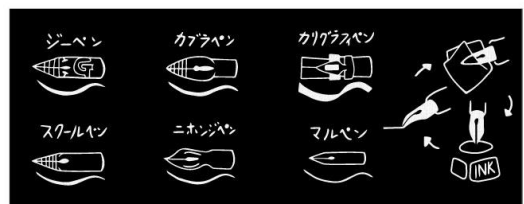
扇子 | 谷口 碧空 作 - TANIGUCHI Sora



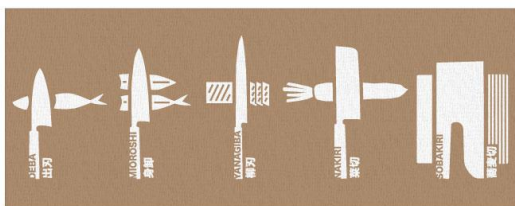
日本刀 | 細川 竜雅 作 - HOSOKAWA Ryuga



十二支 × 招き猫 | 洞口 珠果 作 - HORAGUCHI Shuka



つけペン | 向駒木 潤 作 - MUKAIKOMAGI Jun



和包丁 | 横田 陸空 作 - YOKOTA Riku



一汁三菜 | 樋代 直人 作 - HIDAI Naoto